



2021年2月8日

株式会社FUJI

独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社FUJIは、独立行政法人日本学生支援機構(以下、「同機構」という)が発行するソーシャルボンド(第62回日本学生支援債券、以下「本債券」という)への投資を実施いたしました。

同機構は、学生支援を先導する中核機関であり、我が国の大学等において学ぶ学生等に対する適切な修学の環境を整備し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成に資するとともに、国際相互理解の増進に寄与することを目的としています。

このたび当社が投資を実施した本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

また、本債券はICMA(国際資本市場協会:International Capital Market Association)が定めたソーシャルボンド原則に基づき発行されています。この原則に適合する旨、フランスに拠点を置く世界有数のESG評価機関であるヴィジオアイリス(Vigeo Eiris)からセカンドオピニオンを取得しており、ESG投資の対象となります。

今後も、株式会社FUJIは持続可能な社会の形成に向けた活動を通じて、社会の公器としての責任を果たしてまいります。